

休日当番制から センター化を考える 市民の集い

～釧路市の現状と今後の取組～

参加費
無料
事前申込不要



日時

令和6年 7月23日(火)
18時30分～20時30分

場所

コーチャンフォー釧路文化ホール小ホール
(北海道釧路市治水町12-10 TEL.0154-24-5005)

対象

地域住民および医療・介護関係者

主催:一般社団法人釧路市医師会、一般社団法人北海道医師会、釧路市地域医療協議会、釧路市
後援:道立釧路保健所、北海道新聞社釧路支社、釧路新聞社、FMくしろ、釧路市連合町内会

現在、医療機関の診療時間外となる夜間や休日における内科・小児科の初期救急医療(応急的な処置)は、夜間は「釧路市夜間急病センター」が行い、土曜の午後や日曜日・祝日の日中は、釧路市医師会開業医の当番制により行っています。しかし、開業医の減少や高齢化等に伴い、この当番制の継続運用が困難となったことから、8月1日(木)から現在の当番制を見直し、「釧路市休日夜間急病センター」による診療体制となります。釧路市内の初期救急医療体制がどのように変わるのか、市民一人ひとりがどう行動すればいいのか、地域の皆様と一緒に考えてまいりたいと企画いたしました。
多くの皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム

〈総司会〉 釧路市医師会 理事 中村 達人

● 開 会 ● 開会挨拶

釧路市 市 長 蝦名 大也
北海道医師会 副会長 佐古 和廣

● 基調講演

『釧路市の救急医療体制について』

釧路労災病院 副院長 小笠原和宏

● パネルディスカッション

テーマ『休祭日当番制からセンター化に向けて
～医療側と住民そして行政の立場から～』

〈コーディネーター〉 釧路市医師会 副会長 山本 直樹
釧路市医師会 理 事 林田 賢聖

(1) パネリスト発言

① 医療機関の立場から

医療法人社団サンライズ杉元内科医院 理事長・院長 杉元 重治
市立釧路総合病院 小児科統括診療部長 山本 大
市立釧路総合病院 救命救急センター長 豊原 隆

② 消防の立場から

釧路市消防本部警防課 救急企画主幹 竹内 淳朗

③ 住民の立場から

釧路市連合町内会 会長 黒木 満

④ 行政の立場から

道立釧路保健所 所長 石井 安彦

(2) 全体討論

(3) フロアとの意見交換、質疑

(4) まとめ

北海道医師会 常任理事 白崎 修一

● 閉会挨拶 ● 閉 会

釧路市医師会 会長 柴田 香織

お問い合わせ先 釧路市医師会 TEL. 0154-41-3626